

様式第 2 号の 1-① 【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第 2 号の 1-②を用いること。

学校名	十文字学園女子大学
設置者名	学校法人 十文字学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難		
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計				
人間生活学部 2020 年度生～	健康栄養学科	夜・通信	8		6	14	13			
	食物栄養学科	夜・通信			6	14	13			
	食品開発学科	夜・通信			6	14	13			
	人間福祉学科	夜・通信			6	14	13			
教育人文学部	幼児教育学科	夜・通信					6	14	13	
	児童教育学科	夜・通信					6	14	13	
	心理学科	夜・通信					6	14	13	
	文芸文化学科	夜・通信					6	14	13	
社会情報デザイン学部	社会情報デザイン学科	夜・通信			6	14	13			
(旧) 人間生活学部 2019 年度生のみ	幼児教育学科	夜・通信			14	14	13			
	児童教育学科	夜・通信			14	14	13			
	人間発達心理学科	夜・通信			13	13	13			
	人間福祉学科	夜・通信			14	14	13			
	健康栄養学科	夜・通信			14	14	13			
	食物栄養学科	夜・通信			13	13	13			

2022 年度機関要件更新確認申請書

	文芸文化学科	夜・通信			13	13	13	
	生活情報学科	夜・通信			14	14	13	
	メディアコミュニケーション学科	夜・通信			14	14	13	
<p>(備考)</p> <p>令和2年4月から3学部(人間生活学部・教育人文学部・社会情報デザイン学部)を新設。令和2年度入学生から新課程となったため、授業科目の単位数は、完成年度までの設置計画に基づいて記載した。</p> <p>(旧)人間生活学部については、令和元年度末を以って募集停止した。4年次生が在学する旧課程については、従前の教育課程に基づき授業科目の単位数を記載した。</p>								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページに掲載し、公開している。

https://www.jumonji-u.ac.jp/for-students/practitioner_teacher/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第 2 号の 2-① 【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2-②を用いること。

学校名	十文字学園女子大学
設置者名	学校法人 十文字学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園HPにて公表 <https://gakuen.jumonji-u.ac.jp/information/officer/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	公認会計士	H30. 7. 1～ R4. 6. 30	財務・会計
非常勤	公益財団法人理事	R1. 7. 1～ R5. 6. 30	法人運営全般
非常勤	株式会社取締役会長	R3. 6. 1～ R7. 5. 31	広告・広報
非常勤	私立大学名誉教授	H30. 7. 1～ R4. 6. 30	法人運営全般
非常勤	株式会社名誉顧問	R2. 1. 1～ R5. 12. 31	地域連携
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	十文字学園女子大学
設置者名	学校法人 十文字学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>シラバス作成にあたっては、教務企画委員会がシラバスの記載事項、書式等を定めたシラバスガイドラインを策定し、各教員に記載内容の周知を行っている。</p> <p>シラバスには、科目ごとに、授業形態、実務経験の有無、ねらい(①科目の性格、②科目の概要、③授業の方法、④到達目標、⑤ディプロマ・ポリシーとの関係)、各授業回の内容、授業外学習の内容と学習時間、フィードバックの方法、評価方法および評価の基準、科目ルーブリック(任意)について記載したものを作成している。</p> <p>各科目のシラバスは、年度の始め(4月)に当該年度の内容に更新し、本学 HP「大学案内・情報の公開—シラバス」のページに公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	本学 HP 「大学案内・情報の公開—シラバス」 https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/syllabus/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>「十文字学園女子大学 履修規程」第 6 条(単位認定)に「単位認定は、履修期間における学修の平常成績、試験成績等による評価の結果に基づいて行い、予めシラバス等によりその方法を受講者に周知するものとする」としており、シラバスに評価基準を記載している。</p> <p>また、『履修の手引き』P219 に記載のあるとおり、履修登録を行い各授業に出席し、受験資格を得られた学生に限り所定の試験を受けることができ、その試験で合格の評価を得た学生には所定の単位が認定されるものとしている。</p> <p>『履修の手引き』 https://www.jumonji-u.ac.jp/media/16shiken2022.pdf</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>「十文字学園女子大学 履修規程」第16条(学修成果の評価)第1項に「学生の学修の状況及び成果を示す指標としてGPA(グレードポイント・アベレージ)を用いる。評価に応じて設定した5段階のポイントGP(グレードポイント)に基づき、この平均値であるGPAを算出する」と定め、第2項にGPの設定及びGPAの算出方法について定めている。</p> <p>GPAは原則全科目を対象に成績評価に応じて5段階のポイントを設定し、分母を履修登録科目の総単位数とし、分子をS~Dの5段階に重みづけした点数の単位ごとの合算した数として、小数点第3位を四捨五入した3桁の数値で算出している。本学では、そのGPAに基づいた学生への学習指導や成績優秀者へのCAP制の緩和措置を行っている。このことは、『履修の手引き』に明記し公表している。</p> <p>学生は、各科目の成績評価を点数に換算することで、自らの学修状況を客観的に把握でき、各学期や年度毎のGPA値を比較することで、学修成果を振り返ることができ、卒業までの履修計画策定に活用している。</p> <p>成績分布の把握については、IR課で全体状況の集計を行い、教務企画委員会で分析を行っている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学HP 『履修の手引き』 https://www.jumonji-u.ac.jp/media/16shiken2022.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>大学で身につけるべき資質、能力について、大学全体・学部・学科それぞれの「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」を定めており、これに則った履修指導、卒業に向けた指導体制を構築し、実施している。本学HPや『履修の手引き』、『学びのハンドブック』を作成し公表している。また、授業科目とディプロマ・ポリシーとの関係をシラバスに記載することで、当該授業科目の到達目標とあわせて、学生が身につけるべき資質、能力を示して認識の共有を図っている。</p> <p>さらに学生に対して『学のハンドブック』を用い「教育目標とディプロマ・ポリシー等」について説明会を開催し、理解を深める取り組みを行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>本学HP 「大学案内・情報の公開—教育研究上の目的に関すること(3つのポリシー)」 https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenyumokuteki_5c70a7c022396/</p>

様式第 2 号の 4 - ①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第 2 号の 4 - ②を用いること。

学校名	十文字学園女子大学
設置者名	学校法人 十文字学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://gakuen.jumonji-u.ac.jp/information/financial/
収支計算書又は損益計算書	https://gakuen.jumonji-u.ac.jp/information/financial/
財産目録	https://gakuen.jumonji-u.ac.jp/information/financial/
事業報告書	https://gakuen.jumonji-u.ac.jp/information/financial/
監事による監査報告(書)	https://gakuen.jumonji-u.ac.jp/information/financial/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法: https://gakuen.jumonji-u.ac.jp/information/financial/	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページにて公表 https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/evaluation/gaibuhyouka/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 大学ホームページにて公表 https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/evaluation/univ/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人間生活学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページにて公表） https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenkyumokuteki_5c70a7c022396/
（概要） 人間生活学部は、建学の精神に基づき、「食・栄養・運動・福祉」の観点から、人生 100 年時代の中で、乳幼児から高齢期 までの健康の保持・増進を図り、全て人々が幸福な生活を送る【健幸】を支援できる人材の養成を教育研究上の目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenkyumokuteki_5c70a7c022396/
（概要） 人間生活学部では、国民の健康増進を形成する基本的要素となる視点を学修し、乳幼児期から高齢期までそれぞれのライフステージにおける健康的な心身機能の維持及び向上などに資することができる資質や能力の育成に取り組む。 特に、「食・栄養・運動・福祉」を教育研究の中核とし、人間生活の課題の解決に関して自然、社会などの諸科学の成果を応用して追究できる人材の養成を目指す。 さらに、人々の健康の保持・増進に寄与するために必要な専門的知識と技術を具備し、健康で幸福な【健幸】を支援できる人材を養成することを目的とする。 人間生活学部では、この目的を達成するために、次の人材像を人材養成の方針とする。 1. 「食・栄養・運動・福祉」に関する幅広い知見を有し、【健幸】の質の向上の必要性を理解できる教養を備える 2. 高い倫理観と、人や社会に貢献できる豊かな人間性を兼ね備える 3. 人間生活における様々な課題を理解し、解決するための創造力を備える 4. 社会や地域で専門的知識や技能を多職種連携の視点から応用できる実践力とマネジメント力を備える 5. 情報リテラシーを有し、コミュニケーション力と推進力を発揮して、人々を【健幸】に導くことができる
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenkyumokuteki_5c70a7c022396/
（概要） 人間生活学部の教育課程は、基礎的な学修能力や社会に対する態度などを養う「共通科目」と各学科の専門的学修を行う「専門科目」の 2 つに区分し、本学部の人材養成に必要な科目を配置する。 人間生活学部としては、以下の方針に基づいて教育課程を編成する。 1. 学部の教育を実現する科目として、「地域と人間生活」を開設し、「食・栄養・運動・福祉」の観点から、地域社会における総合的な支援や一人ひとりにとっての【健幸】を学修する 2. 共通科目として、本学独自の「ゼミナール」をはじめ、「総合」、「女性を生きる」、

<p>「社会に生きる」、「保健体育」、「外国語（基礎科目）」、「情報処理」、「キャリア教育」を設定して、社会人として必要な知識・技能を修得する</p> <p>3. 専門教育として、四学科にそれぞれ専門科目を設定し、【健幸】を支援できる女性として必要な専門的知識や技術を修得する</p> <p>4. 学科の枠を越えた学びの場を提供することで、人間生活の視野を広げ、豊かな知識と幅広い応用力を持った柔軟性のある社会人を育成する</p> <p>5. 習得してきた知識・技術を統合し活用する能力を養うため「卒業研究」を設定し、人間生活の課題を探索し取り組むことを追究し、【健幸】を総合的に理解・発展させる能力を養う</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenyumokuteki_5c70a7c022396/</p>
<p>(概要)</p> <p>人間生活学部では、次のような学生を求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「食・栄養・運動・福祉」についての幅広い関心を持つ女性 2. 人や社会に貢献できる豊かな人間性を追求する女性 3. 人間生活における様々な課題を理解し、解決するための意欲を持つ女性 4. コミュニケーション力を発揮して、人々の【健幸】を願う女性 <p>また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。</p> <p>①知識・技能</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「食・栄養・運動・福祉」に関する基礎知識を有している 2. 「食・栄養・運動・福祉」についての人や社会への関心を有している 3. 人々の健康の保持増進への意欲を有している <p>②思考力・判断力・表現力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「食・栄養・運動・福祉」に関しての課題や問題点を見つけ、解決へのプロセスを思考することができる 2. 「食・栄養・運動・福祉」に関して、学内外の実体験を活かし文章等の表現で伝えることができる 3. 学内外の実体験を生かし、多様な人間生活の課題への対応について判断できる <p>③主体性・多様性・協働性</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 集団の中で他者を理解することができる 2. 集団の中で自分の考えを他者に伝えることができる 3. 課題に対して他者と協働して取り組むことができる
<p>学部等名 教育人文学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenyumokuteki_5c70a7c022396/</p>
<p>(概要)</p> <p>教育人文学部は、建学の精神に基づき、教育学、心理学、文学を教育研究の中核として、価値や文化が多様化・多元化する中で、年齢や立場、認知的背景の異なりを超え、他者を受容し理解する姿勢を育み、創造と思考を重ねて生涯にわたって成長・発達を続ける人間を育成することを教育研究上の目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenyumokuteki_5c70a7c022396/</p>

<p>(概要)</p> <p>教育人文学部は、教育学、心理学、文学を教育研究の中核として、人間を尊重し、他者と協働するという基本姿勢を具備する人材の養成を目指す。</p> <p>さらに思考と創造を重ねて成長・発達を続ける人間を理解したうえで、他者と“共創”しながら、市民社会の形成に寄与することができる人材を養成することを目的とする。</p> <p>本学部の目的を達成するため、次の学生像を人材育成の方針とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「こころ」と「ことば」を根幹として、人間の創造活動を読み解く力、共感的理解力を備えた人間性、仮説をたて解釈・吟味する態度を身につける 2. 他者に寄り添いながら、自他共に学び続けることにより、現代的な諸問題を発見し、解決する力を身につける 3. 自他との深い対話を通して自己を確立し、多様な文化を認め合いながら、持続可能で豊かな地域社会の構築に寄与する力を身につける
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenyumokuteki_5c70a7c022396/</p>
<p>(概要)</p> <p>教育人文学部では、価値や文化が多様化している現代社会において、人間らしく心豊かに生きていくために、対象との対話を通じた深い人間理解に基づく教育の実現を目指す。</p> <p>本学部の教育課程は、基礎的な学修能力や社会に対する態度などを養う「共通科目」と各学科の専門的学修を行う「専門科目」の2つに区分し、本学部の人材養成に必要な科目を配置する。</p> <p>具体的に特に次のようなカリキュラムを展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初年次より各学科の学びに対応したゼミ活動を取り入れ、大学での学びへの円滑な導入を図るとともに、自ら課題を設定し、主体的に学修に取り組む姿勢を養う 2. 共通科目では、学部必修科目として「人間理解ワークショップ」を設定し、自己理解・他者理解を深め、協働しながら新たな価値や発想を生み出す共創の力を養う 3. 4学科にそれぞれ専門科目を設定し、必要な専門的知識や技術を修得することで、社会に貢献できる力を養う 4. 共通科目や他学科開放科目の履修により、隣接する学問領域に触れ、専門性の裾野を広げるとともに、幅広い視野を身につけ、学際的な知識と柔軟な思考力を養う 5. 修得してきた知識・技術を統合し活用する能力を養うために「卒業研究」を必修科目として設定し、主体的かつ継続的に課題の探究に取り組み、生涯にわたり意欲的に学び続ける力を養う
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenyumokuteki_5c70a7c022396/</p>
<p>(概要)</p> <p>教育人文学部では、次のような学生を求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「こころ」と「ことば」の学びを通して人間について深く理解したいという意欲のある人 2. 自他がもつ可能性を見出し、共に支えあい、成長しようとする意欲のある人 3. 地域社会で人と協働し、未来の社会を創造していく意欲のある人

学部等名 社会情報デザイン学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページにて公表） https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenkyumokuteki_5c70a7c022396/
（概要） 社会情報デザイン学部は、建学の精神に基づき、社会学を中核とし、身近な生活世界から複雑な社会に対する自発的な関心を喚起するところからはじめ、変化する現代社会を対象化・相対化して理解・解明し、さらにこれからの社会のあり方について構想、提言、創造する力を備えた人材を育成することを教育研究上の目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenkyumokuteki_5c70a7c022396/
（概要） 社会情報デザイン学部は、次の学生像を人材育成の方針とする。 1. 社会学を中核として社会科学と情報技術を含めた基本的な知識や技術を備え、社会について深く理解する力がある者 2. 柔軟な発想で課題を捉え、他者と協働して解決に取り組む力がある者
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenkyumokuteki_5c70a7c022396/
（概要） 社会情報デザイン学部では、「共通科目」のほか専門科目として、「学部基礎科目」、「企画構想ラボ」、「社会実習科目群」、「領域科目群」、「演習・卒業研究」の大きく5つの区分にそれぞれ小区分を設けて科目を配置している。 以下の方針に基づいて科目を配置するものとする。 1. 社会を広く捉えて、専門の学びを深める 2. 課題解決や社会への提案の実践的能力を修得する 3. 学生の個性に合わせ横断的に選択履修の幅をもたせ専門的な深い理解や技術の力を養う 4. キャンパスにおける学びと社会での経験の連続性を確保し、実社会の体験を通じ現代社会の理解を深める 5. きめ細かな指導により、専門性の深化、各領域の融合を実現する力を養う
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenkyumokuteki_5c70a7c022396/
（概要） 社会情報デザイン学部では、次のような学生を求める。 1. 社会に関心を持ち、深く理解しようとする人 2. 情報社会に続く新たな社会に積極的に参画する意思がある人 また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。 ①知識・技能 1. 現代社会に対する関心と基本的な知識 2. 情報を正確に理解・読解する力 3. 課題を追求する力

- ②思考力・判断力・表現力
1. 論理的に思考する力
 2. 文章表現力と対話能力
 3. 課題解決能力

- ③主体性・多様性・協働性
1. チームにおいて主体性をもって行動する力
 2. チームにおいて他者を理解し他者と協働する力
 3. 多様な価値観に対する柔軟な姿勢

学部等名 (旧) 人間生活学部 (令和 2 年度募集停止)
教育研究上の目的 (公表方法: 大学ホームページにて公表) https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenkyumokuteki_5c70a7c022396/
(概要) 人間生活学部は、「生活学」、「女性学」を教育研究の中核とし、その具体的課題を人文、社会、自然の諸科学の成果を応用して追及するとともに、生活諸課題を合理的に解決し、発展させることのできる人材を育成することを教育研究上の目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 大学ホームページにて公表) https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenkyumokuteki_5c70a7c022396/
(概要) 学園歌に謳われる「身をきたへ心きたへて世の中にたちてかひある人と生きなむ」の建学の精神に基づいた教育課程を編成している。所定の期間在学して、卒業要件に定められた授業科目を履修し、単位数を習得することが学位授与の要件となる。修得すべき授業科目には、講義科目のほか演習や実習、実験や卒業研究等の科目が含まれる。 本学の目的を達成するために、次の学生像を人材育成の方針とする。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 全学共通教育では、基礎的な学修能力を養い、心身ともに充実し、自立した女性として積極的に問題を探究する力を身につける 2. 体系的・学際的な学修により専門知識・技能で培われた教養を女性の視点から地域や社会の中で生かす方法を身につける 3. 社会生活に必要な知的コンピテンス・社会的コンピテンスを始め、様々な人々の立場や意見を尊重し、人間として女性として誇りを持ち、よりよい社会の発展と文化の向上に貢献する姿勢を身につける そのうえで、次の資質および能力を有している者に「学士」の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 大学ホームページにて公表) https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenkyumokuteki_5c70a7c022396/

(概要)

学園歌に謳われる「身をきたへ心きたへて世の中にたちてかひある人と生きなむ」の建学の精神に基づき、創立以来、強健な身体と確固たる精神を備え、豊かで実用的な知識をもって社会に役立つ有用な女性を育成することを教育の基本理念としている。本学が目指すのは、21世紀の社会における多様な変化の中で、人とのつながりを大切にしつつ自己のライフワークを追求し、生涯にわたって心豊かで健全な生活を送ることのできる女性である。

以上の理念に基づき、具体的に特に次のようなカリキュラムを展開している。

1. 初年次教育として、前期に「入門ゼミナール」、後期に「読書入門」を開設し、大学での学びへの円滑な導入を図る
2. 共通教育として本学独自の「十文字学」を始め、「保健体育」、「外国語」、「情報処理基礎」、「キャリア教育」を設定して、社会人として必要な知識・技能を修得する
3. 専門教育として、9学科にそれぞれ専門科目を設定し、職業人として必要な専門的知識や技術を修得する
4. 学科の枠を越えた学びの場を提供することで、専門性の裾野を広げ、豊かな知識と幅広い視野を持った柔軟性のある社会人を育成する
5. 習得してきた知識・技術を統合し活用する能力を養うため「卒業研究」を必修科目として設定し、自ら研究課題を探索し取り組むことを通して、自学自習する能力を養う

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）

[https://www.jumonji-](https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenkyumokuteki_5c70a7c022396/)

[u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenkyumokuteki_5c70a7c022396/](https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/kenkyumokuteki_5c70a7c022396/)

(概要)

学園歌に謳われる「身をきたへ心きたへて世の中にたちてかひある人と生きなむ」の建学の精神に基づき、時代の変化に対応しつつ、現代社会の要請に合わせ人材養成の目標を「幅広い職業人の養成」としている。本学における教育研究活動によって、後期中等教育を修了した直後の女子学生に専門的知識、技術を修得させるのみならず、自ら学ぶ意欲と力を育て、21世紀を生きる女性としての生きる力を育てる。

本学が求める学生像は、総体的にはこの大学の設立理念に賛同し、「自分らしい生きがい」を実現したいという意欲を持った女性、人間に対する理解を深めようとする態度、より豊かな社会や人間生活の実現を目指そうとする意欲や興味を持った女性である。

なお、本学受験生は、主要科目（国語、数学、地歴・公民、理科、外国語）において、基礎的な内容の学習をしてきていること、さらに高校での教科学習を通じて、知識の獲得のみならず、知識を活用して応用的な問題解決に自ら進んで取り組む意欲が育まれていることが期待される。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ホームページにて公表

https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/soshiki_5c70a85c551e6/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	5人	－					人
人間生活学部	－	24人	18人	11人	3人	8人	64人
教育人文学部	－	35人	15人	10人	1人	0人	61人
社会情報デザイン学部	－	12人	1人	2人	0人	0人	15人
大学院	－	1人	0人	0人	0人	0人	1人
その他	－	3人	0人	2人	0人	0人	5人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		217人					217人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）	公表方法：大学ホームページにて公表 https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/teacher-16040/						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
「全学FD委員会」を設置し、毎年「学生による授業評価アンケート」による学生からのフィードバック、「授業公開」による指導技術の共有、「FD・SD勉強会」等を実施し、これらの活動を通じ教員の教育能力の向上に努めている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間生活学部	350人	353人	100.9%	1,065人	1,072人	100.7%	15人	0人
教育人文学部	440人	367人	83.4%	1,325人	1,302人	98.3%	5人	0人
社会情報 デザイン学部	130人	62人	47.7%	395人	330人	83.5%	5人	0人
(旧)人間生 活学部	募集停止	募集停止	-%	1,020人	1,045人	102.5%	-人	-人
合計	920人	782人	85.0%	3,805人	3,749人	98.5%	25人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
(旧) 人間生活学部	837 人 (100%)	8 人 (1.0%)	742 人 (88.6%)	87 人 (10.4%)
合計	837 人 (100%)	8 人 (1.0%)	742 人 (88.6%)	87 人 (10.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 大学ホームページにて公表 https://www.jumonji-u.ac.jp/career/employment_and_graduateschool/				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
(旧) 人間生活学部	909 人 (100%)	796 人 (87.6%)	48 人 (5.3%)	65 人 (7.2%)	0 人 (0%)
合計	909 人 (100%)	796 人 (87.6%)	48 人 (5.3%)	65 人 (7.2%)	0 人 (0%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) シラバスにおいて、記載事項の主要項目は「教員の実務経験および科目との関連性」、「科目の性格」、「科目の概要」、「授業の方法 (AL を含む)」、「到達目標」、「ディプロマ・ポリシーとの関係」、「授業内容」、「事前事後学習」、「評価方法および評価の基準」、「教科書・推薦書」、「履修上の助言、教員からのメッセージ」等としており、学生の履修計画策定等に資するものとしている。

『十文字学園女子大学 シラバス一覧』
<https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/syllabus/>

『履修の手引き』 (刊行物もあり)
<https://www.jumonji-u.ac.jp/campuslife/registration-guide/>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
『十文字学園女子大学履修規程』により、学生の学修の平常成績、試験成績等による評価の結果に基づいて行い、予めシラバス等によりその方法を学生に周知している。 また、『シラバス』(https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/syllabus/)では、学修成果の評価について、試験、レポート等を実施するとともに、出欠席の管理やリアクションペーパーを活用することにより学習意欲の把握も行えるよう工夫して総合的に評価し単位認定を行うこととしている。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間生活学部	健康栄養学科	124 単位	有	48 単位
	食物栄養学科	124 単位	有	48 単位
	食品開発学科	124 単位	有	48 単位
	人間福祉学科	124 単位	有	48 単位
教育人文学部	幼児教育学科	124 単位	有	48 単位
	児童教育学科	124 単位	有	48 単位
	心理学科	124 単位	有	48 単位
	文芸文化学科	124 単位	有	48 単位
社会情報 デザイン学部	社会情報 デザイン学科	124 単位	有	48 単位
(旧) 人間生活 学部	幼児教育学科	124 単位	有	48 単位
	児童教育学科	124 単位	有	48 単位
	人間発達心理学科	124 単位	有	48 単位
	人間福祉学科	124 単位	有	48 単位
	健康栄養学科	124 単位	有	48 単位
	食物栄養学科	124 単位	有	48 単位
	文芸文化学科	124 単位	有	48 単位
	生活情報学科	124 単位	有	48 単位
	メディア コミュニケーション 学科	124 単位	有	48 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：大学ホームページにて公表 https://www.jumonji-u.ac.jp/media/16shiken2022.pdf		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：学生生活及び学習、卒業に係る調査を実施し、HPにて公開 https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/4_5d7b3d10c7a19/		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページにて公表
https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/shisetu_5c70aa3edde54/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
人間生活 学部 【1年次生】	健康栄養学科	800,000 円	250,000 円	380,000 円	教育充実費
	食物栄養学科	800,000 円		380,000 円	
	食品開発学科	800,000 円		380,000 円	
	人間福祉学科	750,000 円		330,000 円	
教育人文 学部 【1年次生】	幼児教育学科	770,000 円	250,000 円	330,000 円	教育充実費
	児童教育学科	770,000 円			
	心理学科	750,000 円			
	文芸文化学科	750,000 円			
社会情報 デザイン学部 【1年次生】	社会情報 デザイン学科	750,000 円	250,000 円	330,000 円	教育充実費
人間生活 学部 【2年次生～】	健康栄養学科	800,000 円	—	540,000 円	教育充実費
	食物栄養学科	800,000 円		540,000 円	
	食品開発学科	800,000 円		540,000 円	
	人間福祉学科	750,000 円		490,000 円	
教育人文 学部 【2年次生～】	幼児教育学科	770,000 円	—	490,000 円	教育充実費
	児童教育学科	770,000 円			
	心理学科	750,000 円			
	文芸文化学科	750,000 円			
社会情報 デザイン学部 【2年次生～】	社会情報 デザイン学科	750,000 円	—	490,000 円	教育充実費
(旧) 人間 生活学部 ※令和2年度募 集停止	幼児教育学科	750,000 円	—	450,000 円	施設費、 実験実習・教育充実費
	児童教育学科			450,000 円	
	人間発達心理学科			450,000 円	
	人間福祉学科			450,000 円	
	健康栄養学科			500,000 円	
	食物栄養学科			500,000 円	
	文芸文化学科			400,000 円	
	生活情報学科			450,000 円	
	メディア コミュニケーション 学科			450,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

入学時から学習支援や学習相談を行い、講義や演習を円滑に受講できるよう、専門教員がサポートする学修支援センターや、特別支援教育に関する研究・支援・特別支援学校教諭免許等に関する相談に対応する特別支援教育研究所を設置している。また、学生の経済的負担を軽減し、安心して大学生活を送れるよう、大学独自の奨学金等、経済的支援制度を設けている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学生の進路・就職指導を行うキャリア支援部を設置している。1年次から性格診断や適職診断などを通して「進路・就職への意識づくり」を進めている。また、個別指導には特に力を入れ、学生生活の過ごし方から役立つ資格取得の相談、就職活動でのアドバイスなど総合的にカウンセリングを行い、学年や時期を問わず、随時丁寧かつ継続的に相談に対応している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 本学では、学生の心身の健康等に関する支援として、健康管理センターと学生総合相談船体を設置している。健康管理センターは、学生の健康維持をサポートするため、大学内でのケガや体調不良、あるいは医師や保健師への健康相談など、心身の健康に関して対応している。そのための事務室、医務室、安静室を設置している。また、学生総合相談センターでは、充実した学生生活を送るために必要な情報の提供、悩みや問題点などを解決するための援助や相談への対応をおこなっている。また、特別な教育的ニーズを必要とする学生の相談には、専門の相談員が対応している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページにて公表

<https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/jouhou/activity/>